

# 静岡でとんかつ店に再参入

## 2店譲受、来月上旬めど開業

外食店経営の豊田産業

(本社刈谷市、豊田貴久

社長)は、とんかつ店の

運営に再参入する。この

ほど、破産した西山商事

(本社浜松市)の静岡県

内のとんかつ店2店を譲

り受けた。両店とも9月

上旬をめどにオープンす

る。とんかつ店を再び事

業化し、業績の拡大につ

なげる。

(倉科信吾)

### 豊田産業

譲受したのは「黄金のとんかつ 開春楼」の浜松駅南店(浜松市南区)と磐田店(磐田市)。

開春楼のとんかつは、外側がサクツとした食感で、肉がジューシーなのが特徴。ご飯やキャベツも食べ放題で、千円前後で多彩な定食が味わえ、家族連れやカップルに人気を集めてい



譲受した「黄金のとんかつ 開春楼浜松駅前店」

ルの業績が悪化し、事業の見通しが立たなくなった。開春楼は3店あったが、同2日から営業停止している。

豊田産業は3店とも継承する意向だったが、交渉がまとまらず、2店を譲受することになった。大規模な改修はせず、従業員も9割以上引き継ぎ営業を再開する。豊田産業は2年前まで

とんかつ店「かつのヒロシ」(安城市)を展開。その経験を生かし、開春楼を運営していく。

豊田産業は、焼き肉レストラン「焼肉一番かるび」、ラーメン店「丸源ラーメン」などのフランチャイズ(F

C)店に加え、直営で喫茶店「あおい珈琲」やパン販売店「ブレッドファクトリ

」を展開している。愛知、三重の両県を中心に、神奈川県や東京都で計33店を展

開(23日現在)。外食事業部の2018年6月期売上高は約54億円。